

NEC 照明器具

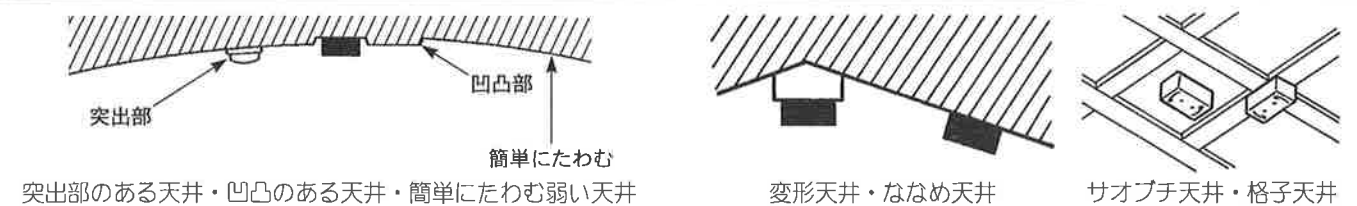
取扱説明書

保存用 保証書添付

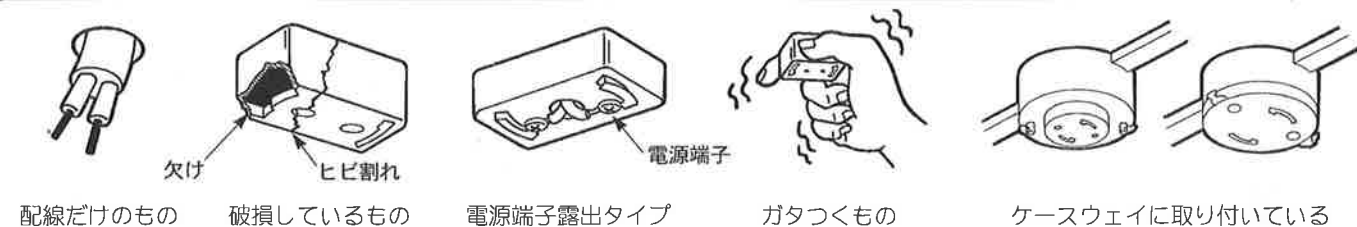
【取付方法】

取り付けできない天井

火災・感電・落下によるけがの原因となります。



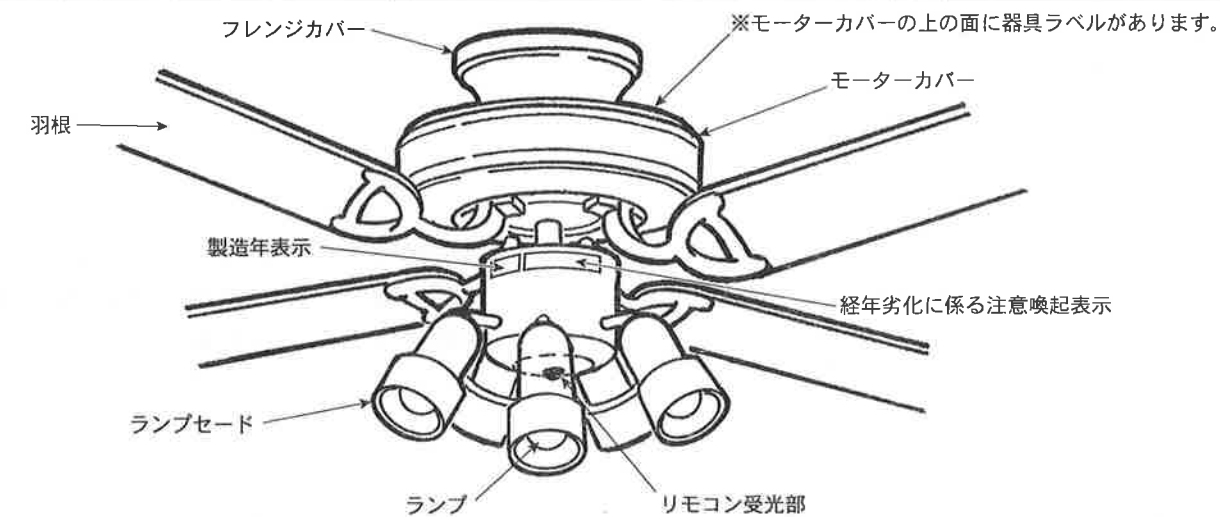
下図の場合は、電気工事店か販売店にご相談ください。



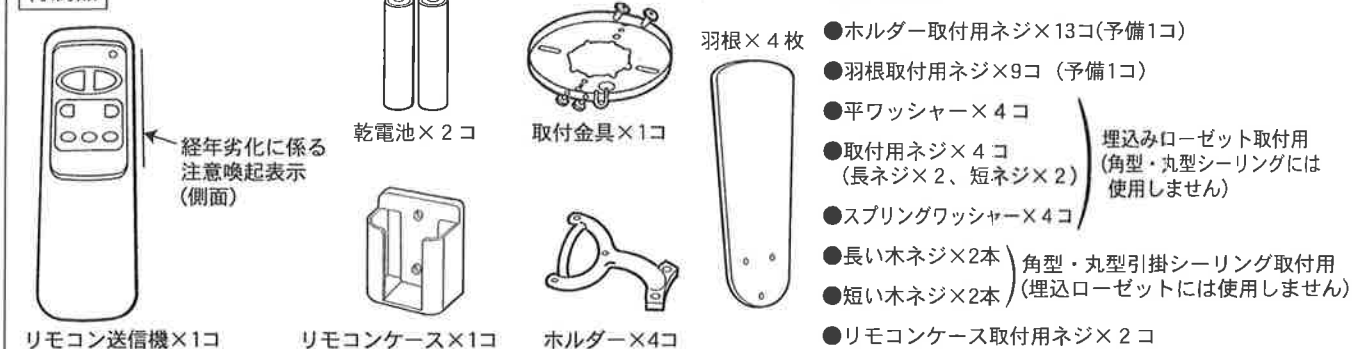
電気工事は電気工事士の資格が必要です。工事は必ず電気工事店に依頼してください。

引掛シーリングはベニヤ板などの薄い天井材には取り付けしないでください。器具が落下する恐れがあります。

各部の名称



付属品



NECライティング株式会社

東京都港区芝1-7-17
〒105-0014 <http://www.nelt.co.jp/>

＜お客様相談室＞
フリーダイヤル 0120-52-3205
受付時間 平日9:00～12:00 13:00～18:00
(土、日、祭日は受け付けておりません)
FAX. 03-6746-1521

※この紙は再生紙を使用しています

安全に関するご注意

明るく安全に使用していただくため、以下の項目にご注意願います。

⚠ 安全に関するご注意

- 照明器具には寿命があります。
- 設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。
点検・交換をおすすめします。
点検せずに長期間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。
※照明部分の使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯。(JIS C8105-1 解説による。)
- 周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。
- 1年に1回は、「安全チェックシート」により、自主点検してください。

安全チェックシート

- 安全のために1年に1回は点検をおすすめいたします。
- 下欄の安全点検項目について点検し、該当する場合は点検結果欄に○印を記入し、処置手順に従ってください。

安 全 点 検 項 目		点 検 結 果					処 置 手 順
	点 検 年 月	/	/	/	/	/	
1. スイッチを入れても、時々点灯しないときがある。							○印がある場合は、危険な状態 になっています。事故防止のた め、使用を中止し、新しい器具 にお取り替えてください。
2. プラグ・コードや本体を動かすと点滅する。							
3. プラグ・コードなどが異常に熱い。							
4. こげくさい臭いがする。							
5. 点灯時に漏電ブレーカーが動作することがある。							
6. コード・ソケット・配線部品に傷みやひび割れ、変形がある。							○印がある場合は、危険な状態 になっていることがあります。 事故防止のため、使用を中止し、 新しい器具にお取り替え、もし くは継続的に点検してください。
7. 購入後、10年以上経過している。							
8. ランプを交換しても点灯するまで時間がかかる。							
9. カバー・パネルなどに変色・変形・ひび割れなどがある。							
10. 塗装面にふくれ、ひび割れがある。または錆が出ている。							
11. 器具取付け部に変形・ガタツキ・ゆるみ等がある。							

上記点検項目以外でも不具合があれば、ご購入した販売店・工事店・メーカー等の専門家にご相談ください。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

【本体への表示内容】

経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けされた下記の内容の表示を本体に行っています。

	【製造年】(本体に西暦4桁で表示してあります) 【設計上の標準使用期間】10年 設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。
---	---

【設計上の標準使用期間とは】

- 運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全に支障なく使用することができる標準的な期間です。
- 設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。
また、偶発的な故障を保証するものではありません。
- 標準的使用条件を超えた条件で使用した場合、標準使用期間よりも短い期間で経年劣化による発火・けが等の事故に至る場合があります。

■ 標準使用条件 日本工業規格 JIS C 9921-1 による

大 項 目	中 項 目		小 項 目	備 考
環 境 条 件	電 圧		単相100V	機器の定格電圧による
	周 波 数		50Hz/60Hz	
	温 度		30℃	
	湿 度		65%	
	設 置 条 件		標 準 設 置	製品の取扱説明書・据付説明書による
負 荷 条 件			定格負荷(風速)	製品の取扱説明書による
想定時間等	天 井 扇	1日あたりの使用時間	10h／日	
		1日使用回数	5回／日	
		1年間の使用日数	180日／年	
		スイッチ操作回数	900回／年	
		首振運転の割合	対 象 外	

注記：環境条件の湿度65%は、JIS Z 8703 の試験状態を参考としている。

「経年劣化」とは

長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

定 格

形 式	定格電圧	定格周波数	ランプの最大消費電力	モーターの最大消費電力	口 金	使 用 電 球
60W形ミニクリプトン5灯用 (弊社形式：XZF-65***)	AC100V	50Hz 60Hz	300W	30W	E-17	ミニクリプトン電球 60W形(E-17)×5

器具の取付方法

器具の取り付けを行う際は、感電等の事故防止の為、必ず電源を切って行って下さい。

1. 天井の引掛シーリングを確認する

取り付け可能な引掛シーリング

・下図の引掛シーリングであれば取り付け可能です。
(ガタつきや破損がないことを確認して下さい。)

重要ポイント

引掛シーリングの形状によって
取付方法が異なります。

角型引掛シーリング



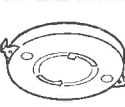
丸型引掛シーリング



丸型引掛シーリング



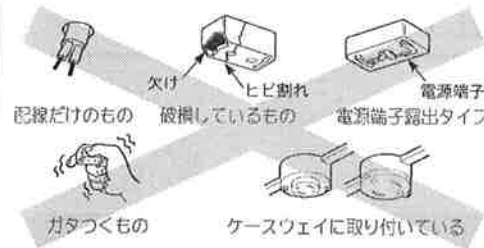
埋込ローゼット



埋込ローゼット



取り付けできない引掛シーリング



取り付ける際は、必ず上図の取り付け可能な
引掛シーリングに交換して下さい。
交換には電気工事士の資格が必要です。
交換工事は必ず電気工事店に依頼して下さい。

(引掛シーリングはベニヤ板などの薄い天井には取り
付けられないで下さい。器具が落下する恐れがあります。)

2. 取付金具を取り付ける

■角型・丸型引掛シーリングの場合

①右図のように取付金具の側面左側のネジを
はずして下さい。
右側のネジは半分までゆるめてください。

②天井に必ず木ネジ4本で取り付け
てください。

必ず厚い桟に取り付けてください。



・シーリングファンの重さは約6kgです。
・天井の強度(回転荷重も加わりますので10kgに耐えうる)や補強方法に十分気をつけ
天井の梁に取付けてください。

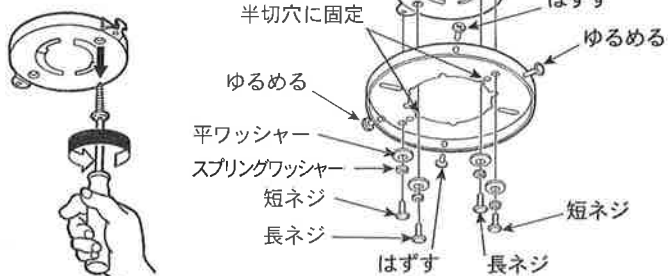
2. 取付金具を取り付ける

■図の埋込ローゼットの場合

①図のように取付金具の側面左側のネジを
はずして下さい。
右側のネジは半分までゆるめてください。

②ローゼットの2つのネジ
をはずして下さい。

③埋込ローゼット取付用
ネジでローゼットに取り
付けてください。
※必ず4本で取り付け
てください。



・シーリングファンの重さは約6kgです。
・天井の強度(回転荷重も加わりますので10kgに耐えうる)や補強方法に十分気をつけ
しっかりと締め付けてください。

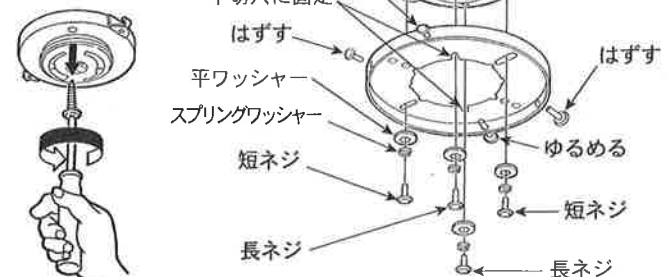
2. 取付金具を取り付ける

■図の埋込ローゼットの場合

①図のように取付金具の側面左側のネジを
はずして下さい。
右側のネジは半分までゆるめてください。

②ローゼットの2つのネジ
をはずして下さい。

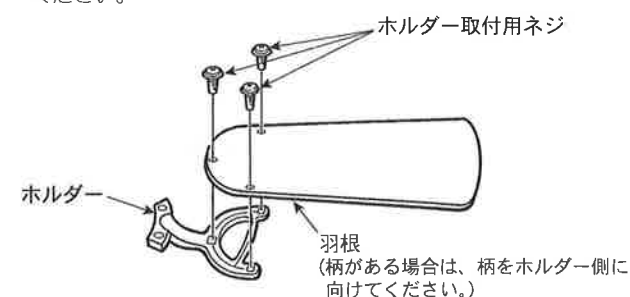
③埋込ローゼット取付用
ネジでローゼットに取り
付けてください。
※必ず4本で取り付け
てください。



・シーリングファンの重さは約6kgです。
・天井の強度(回転荷重も加わりますので10kgに耐えうる)や補強方法に十分気をつけ
しっかりと締め付けてください。

3. 羽根を組み立てる

添付のホルダー取付用ネジで羽根をホルダーに取り付けて
ください。



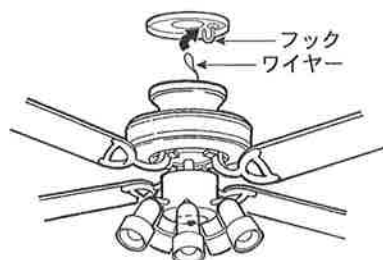
4. 羽根を取り付ける

添付の羽根取付用ネジでモーターに羽根を
取り付けてください。



5. 本体部を取り付ける

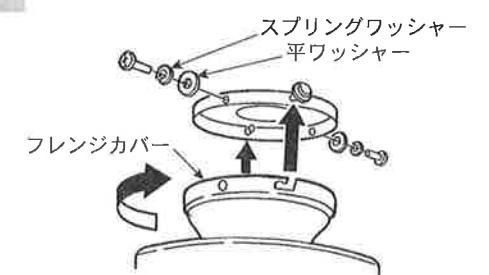
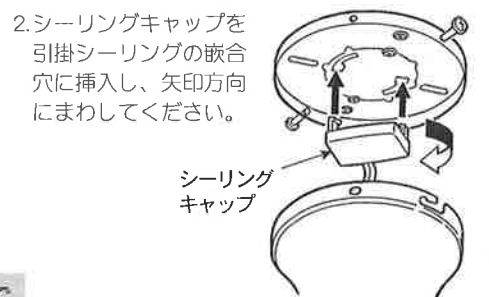
1.本体部についている
ワイヤーを取付金具
のフックに引っ掛け
てください。



注：仮固定ができますが吊ったままで手をはなさないで
ください。落下の危険があります。

3. ①フレンジカバーの耳を取付金具のネジに差し込み、
右に回してはめてください。
②左側のネジをしめてください。
③はずしたネジを穴に合わせ締め込んでください。
必ず4本ともしっかりと締め込んでください。

注：平ワッシャーは、必ず器具フレンジカバーの
外側にくること。

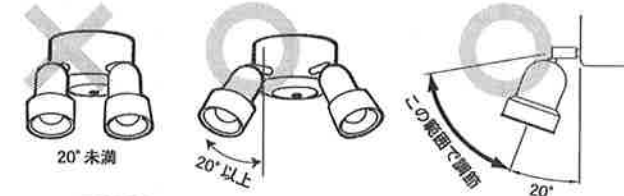


6. ランプセードを調節する



ランプが点灯している場合は、ランプ及びランプセード
が高温になっています。必ず、消灯してからランプ
セードを調節してください。又、消灯直後も高温にな
っていますので、注意してください。
ヤケドの恐れがあります。

①ランプ保護用のダンボールを取り除いてください。
②ランプにゆるみがないか確認してください。
③ランプセードを図のように角度調節してください。



重要ポイント

ランプセードが20°未満の場合、リモコン信号を
ささげるため動作しないことがあります。

7. リモコン送信機に乾電池を入れる

カバーを軽く押しながら手前に引いて外して
下さい。
乾電池の極性⊕⊖を間違えないように入れて、
カバーを閉めてください。
リモコン送信機の平均電池
寿命は、1日10回使用した
場合、約1年間です。
電池交換の際は、必ず2本
とも交換してください。
(使用電池は単3形)



リモコンケースを壁等に取り付ける場合
リモコンケースを添付のリモコンケース
取付用ネジで取り付けてください。

